

1/19

目標をもって生きる



車いすバスケット国体愛知県代表の洞田博^{ほらだ}さんを招き、洞田さんの生き方を学ぶ福祉学習が丈山小学校で行われました。全校児童528人は、17年前に事故にあった苦い経験から車いすバスケットに出会うまでのことや常に目標をもって努力して

いるという話を熱心に聞いていました。現在、洞田さんは、仕事の傍ら毎日練習に励んでいるそうです。洞田さんが競技用の車いすに乗って華麗なドリブルやシュートを披露すると、児童から「もう一回やって」と歓声があがっていました。



2/9

鎌倉時代の遺跡発掘

古井町・川島町にまたがる上橋下遺跡^{かみはしか}の説明会が現地で行われ、約100人が参加。発掘調査は、鹿乗川改修工事に伴う事前調査として行われました。鎌倉時代の祭祀遺構が検出され、「十」や「の」などの文字が墨書きされた土器も多数確認されました。参加者は、強い風が吹くなかで埋蔵文化センターの職員の説明を熱心に聞いていました。

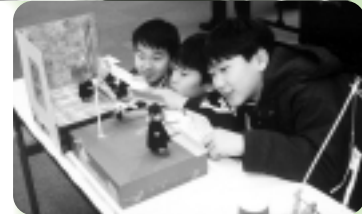
2/8

孫の肩もみは最高です

東部小学校で、学区内のお年寄りや今まで学習活動でお世話になった人約150人を招いて、児童会祭り「ハッピーカーニバル」が行われました。2年生の教室では「おじいさん、おばあさんが喜ぶお店」が出され、お茶屋、肩もみ、囲碁のコーナーを出店。肩もみコーナーでは子どもが肩をもんだり、たたいたりしました。おじいさんは「これは気持ちいい。最高。孫に肩をもんでもらうのは初めて」とご満悦の様子でした。



2月2日・3日に第38回かがくのひろば展が文化センターで開かれ、市内の小中学生621人による科学技術の研究作品608点が展示されました。中には「この続きはぼくのホームページで公開します」と書かれたものも。大人たちを驚かせるような発明や工夫がいっぱいでした。



2/2

発明と工夫がいっぱい「かがくのひろば展」

わがまち フォト グラフ



2/3

たこ作りは難しい

郷土の桜井たこを作る催しが歴史博物館で行われ、親子32人が参加しました。東海たこの会の人たちの指導のもと、伝統的な福助たこに挑戦。竹ひごから糸を結んで骨組みを作り、和紙をはりつけて完成させました。子どもたちは、「たこ作りは難しかったけどおもしろかった」「できたらお父さんと一緒に飛ばして遊びます」と喜んでいました。



1/30

わがば保育園から 二本木保育園へ



昭和43年に開園したわがば保育園は園舎老朽化と園児増加により閉園し、隣に二本木保育園が新設されました。保育のニーズにこたえて、4月からは一時保育や休日保育の実施、子育て支援センターも併設されます。この日は、園児たちがお祝いの歌を披露した後、施設の内覧が行われ、地域の人たちも見学に訪れていました。



1/20

文化財防火訓練

法隆寺金堂壁画が焼失した昭和24年1月26日。「文化財防火デー」となったこの日を前に、東端町の西蓮寺で文化財防火訓練が行われました。消防署、消防団、婦人防火クラブ、自主防災会から約110人が参加。初期消火訓練、一斉放水がスムーズに行われ、文化財の重要性を再認識しました。